

とくに、罹患筋への治療刺激は、症状の軽減のみならず、心理的にも良い効果があるようです。たとえば、患者さんと一緒になってジストニア症状を呈する患指、随伴して屈曲している指、代償的に伸展している指を特定してゆくことは、施術者のもとより、患者さん自身が症状を理解することにもつながります。そして、改善すべき目的が明確になることで、早急な効果のみえないリハビリテーションを継続していく希望にも転化されるようです。

2）短所（弱点）として

脳には、自ら再編し変容する能力があります。この神経系に備わる能力を最大限に利用して、新しい神経の再編プロセスをたどる神経リハビリテーションと協力していくことが、音楽家のジストニアをみる治療院の課題といえます。当治療院では、神経内科学に関連するリハビリテーションの知識や技能を習得すべく心掛けています。しかし、楽器を用いた再訓練を行っている施設と、直接的な協力関係が築けていないことに弱点があります。

ただし、音楽家が局所性ジストニアを主訴とする場合は、自分で選んだ特別なレッスンを受けながら来院されるものです。当治療院では、その脳の可塑性を促すレッスンと協力して、深部位置感覚の変更を刺激するように運動操作・矯正を施していきます。

古屋晋一（2011）楽器演奏のパフォーマンスを阻害する筋収縮．バイオメカニズム学会誌，35(3) : p.168-175.

ジャウメ ロセー イ リョベール・シルビア ファブレガス イ モラス 編・平孝臣・堀内正浩 監・NPO 法人ジストニア友の会 訳（2013）どうして弾けなくなるの？<音楽家のジストニア>の正しい知識のために．音楽之友社.

講道館 監（1994）嘉納治五郎体系 第3巻 柔道実技．本の友社.

塩川満章（1999）臨床カイロプラクティック 哲学・科学・芸術．ルネッサンス・ジャパン.

平孝臣（2011）ジストニアの治療の最前線．脳と発達，44(3) : p.183-188.


平孝臣・堀智勝（2004）ジストニアに対する脳神経外科治療．脳神経外科ジャーナル，13(5) : p.353-362.

治療院だより

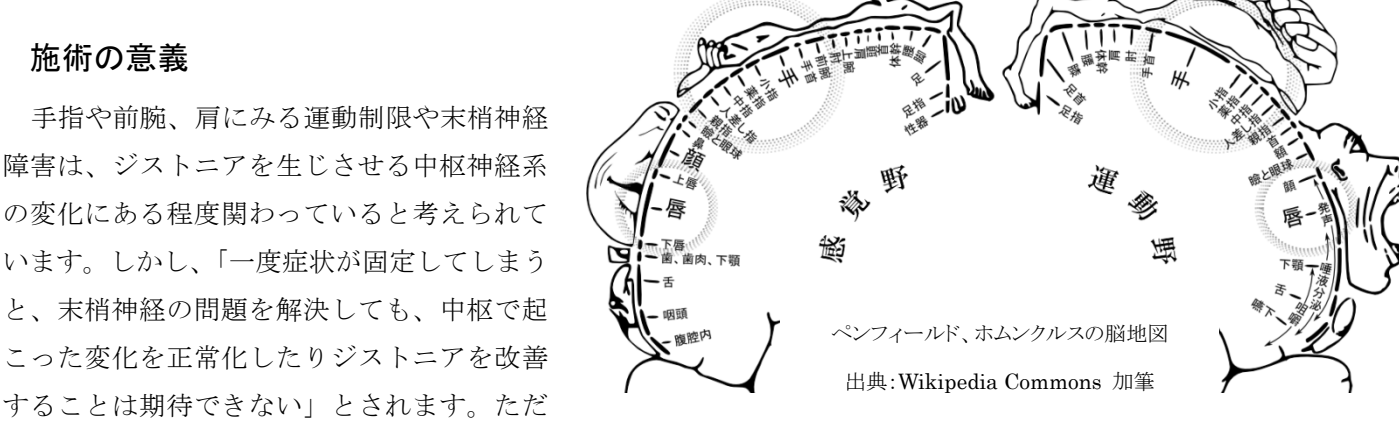
カイロプラクティック・鍼療法 ほんがわ治療院（ご案内）

ご挨拶	院長プロフィール
ほんがわ治療院では、「年齢による健康への不安に、負けない」を目指して、慢性化した症状の緩和には、ことさら力を入れて取り組んでいます。	鈴木整形外科 鈴木裕視医師にカイロプラクティックを師事 菊治療室(KIKU カイロプラクティック研究所) 菊栄一先生に師事 ほんがわ治療院 1999 年開院 ..
また、施術の傍ら、人文学の見地から介護予防の研究をおこなっています。	早稲田大学 大学院スポーツ科学研究科 修士 東洋大学 印度哲学科 卒業
手技療法と倫理哲学の専門性を活かし、「こころとからだ」から、皆さんへの健康支援を通じて社会に貢献していく、それが“ほんがわ治療院”です。	神奈川衛生学園専門学校 鍼灸マッサージ科 卒業
どうぞ、当治療院へお越し下さい。心よりお待ちしております。	所属・資格
	日本カイロプラクティックリサーチ協会 会員 日本応用老年学会 会員 あん摩マッサージ指圧師/はり師 きゅう師（1989年/90年・国家資格）

治療院だより	カイロプラクティック・鍼療法 ほんがわ治療院
Newsletter No.33	東京都豊島区南池袋 2-13-10 キャッスル小林 3F
	03-3988-3467 （予約制）



当治療院がおこなう音楽家の局所性ジストニアへの施術（概要）



し、運動制限や末梢神経障害を治療しておけば、最善の状態のリハビリテーション過程を開始できるといいます（ジャウメ ロセー・シルビア ファブレガス，2013，p.110）。

当治療院がおこなう音楽家のジストニアに対する施術の第一義は、関節の運動制限や過緊張をつくっている機能障害を癒すことで、楽器を用いた神経リハビリテーションを円滑におこなえるよう支援することにあります。

脳が間違いを取り込んだジストニアの治療は、あくまでも楽器を用いた実際の動作特異性を考慮した訓練が主役でしょう。当治療院の施術は、新たな神経細胞間のネットワークを形成するためにおこなわれる、脳の再編プロセスをたどる神経リハビリテーションの脇役かもしれません。けれども、関節の可動性を高めることを得意とするところから、その任は十分に果たせます。

そのうえで、演奏するとき働いている関節や筋肉への物理的な治療刺激は、脳に伝達されます。そして、この情報は処理され、適切に反応をするための指令が、神経を介して身体の各組織に送られます。そのような刺激と反応は、脳の可塑性を促すうえで良い効果を与えるものと期待します。

施術の目的

音楽家の局所性ジストニアに対する施術は、「末梢神経から脳内機序の改善」「関節・筋肉の機能障害の改善」「緊張状態を癒して心身の休息」を促すことを主な目的として、以下のようにおこないます。

1. 末梢神経から脳内機序の改善を促す

ジストニアには、大脳基底核の機能異常、皮質運動野・基底核・視床ループの過興奮、広範な感覚系の機能異常などが存在します（平・堀，2004）。そして、末梢を含めた神経ループが発症に関与していることから、ジストニアは一般に対症的に対処した場合でも、脳内機序が改善することがあります（平，2011）。この対症的な対処として、ジストニアが発現する症状部位、および中枢近くの上部頸椎から手技による治療刺激を加えていきます。

